

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 8月25日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
京都市伏見区深草塚本町67番地  
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
学校法人龍谷大学 理事長  
石上 智康

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例  
第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	学校法人龍谷大学 理事長 石上 智康
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都市伏見区深草塚本町67番地

1 事業者の概要

事業所の名称	学校法人龍谷大学 瀬田学舎					
事業所の所在地	大津市瀬田大江町横谷1-5					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	1	6	1	大学
事業の概要	教育・研究・社会貢献					
従業員の数	398	人	操業時間	7.25	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	13	台
	照明設備	多数		台		
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	1198	台
				その他	発電機3台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2026	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

本学では、2022年1月27日に「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を発出し、2039年(遅くとも2050年)までに各キャンパスのカーボンニュートラルを実現し、「ゼロカーボンユニバーシティ」を目指しています。具体的には、以下の5つの項目を掲げ、CO<sub>2</sub>の削減やカーボンニュートラルを実現していく次世代人材の育成に取り組んできます。

1. 大学運営上の省エネルギー化の徹底、再生可能エネルギーの普及等を図ります。これらにより、2039年(遅くとも2050年)までに各キャンパスのカーボンニュートラルを実現し、「ゼロカーボンユニバーシティ」を目指します。
2. 教育活動を通じて、カーボンニュートラルの担い手となる次代の要請に応えた人材を育成します。
3. 人文・社会科学から自然科学まで幅広い知見を有する大学として、カーボンニュートラルに係る研究成果を社会実装していきます。
4. カーボンニュートラルに取り組む学生の主体的な活動を積極的に支援し、学生・教職員が一丸となって取り組めます。
5. これらの活動に留まることなく、「地域循環共生圏」の実現に向けて、国・地方自治体、企業等と連携しながら、持続可能なまちづくりを担う中核となります。

## 2 取組の推進体制

担当常務理事や施設等管理担当部署の役職者等で構成する龍谷大学地球温暖化対策推進委員会において、毎年の温暖化対策基本方針を確認するとともに、CO<sub>2</sub>削減に向けた各種政策を議論し、全学的に一丸となって取り組みを進める体制をとっています。また、委員会の下にエコキャンパス推進ワーキングを設置し、各キャンパス毎の電気、ガス等のエネルギー使用量を月別にチェックするなど、CO<sub>2</sub>削減に向けた進捗状況管理を行っています。

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

1. BEMSベムス(Building Energy Management System)を活用したエネルギー管理
2. 省エネ関連工事の実施による省エネ効率の改善
  - ・ビルマルチエアコン更新 ・照明LED化工事 ・熱源更新工事 ・パッケージエアコン更新工事
3. エコスタッフの配置と任務
  - ・エネルギー使用量 ・CO<sub>2</sub>排出量の削減 ・紙の使用量削減 ・ゴミ減量 ・リサイクル促進
4. 具体的な取り組みの推進と取り組み内容の周知・徹底
  - ・不要な照明は消灯 ・照明は最小限の使用にとどめる(部分点灯) ・事務室:始業前、昼休み、終業後の照明 ・教室・研究室:授業時、離席時の照明 ・離席時、業務終了時にPCのモニター電源スイッチOFF ・離席時、業務終了時にプリンター主電源OFF ・コピー機、複合機の未使用時は「節電」設定 ・授業終了後の空調スイッチはOFF ・冷房期間の室内温度28℃、暖房期間の室内温度20℃を目安とし、過度な空調運転は控える ・エコパトロールの実施(適宜、清掃会社、設備管理業者に協力を依頼し、実行する。) ・夏季期間における便座ヒーターのスイッチOFF・照明の間引き対応 ・ペーパーレス化の推進 ・データの共有ファイル化 ・回覧資料等の電子化 ・両面印刷、集約印刷の活用 ・印刷プレビューの活用によるミスプリント防止 ・裏紙の活用 ・コピー、印刷枚数の精査 ・リサイクルの促進 ・環境に配慮した製品の購入(グリーン購入)の促進

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調用設定温度を省エネ適正值に維持する	2022年度～	
2	設備導入	野球場の照明、水銀灯126灯のLED化工事	2022年度～	
3	設備導入	多目的グラウンドの照明、水銀灯84灯のLED化計画	2022年度～	
4	設備導入	建物内の蛍光灯照明器具のLED化	2022年度～	
5	設備導入	空調機器の省エネ型マルチエアコンに更新	2022年度～	

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		なし		
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>電気、ガス、使用量の削減</li> <li>エネルギー等原単位を年1%の削減 2021年度=0.02868</li> <li>エネルギー等原単位=エネルギー使用量(原油換算KI)/建物延べ床面積</li> </ul> <p>上記の削減により、エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出削減につなげ、2039年に達成を目指している「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を達成したいと考えている。</p>	

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度					
原油換算エネルギー使用量	kL	3,213					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,878					
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	4,878					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.02868					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	校舎屋上を利用して太陽光パネルを設置	未定	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	瀬田キャンパス内の屋上にできる限りのソーラーパネルを設置するとともに、風力発電、バイオマス等あらゆるクリーンエナジーの活用を模索していく。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0				
上記のうち自家消費量	kWh	0				

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	4,761					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.351					
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0					
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0					
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
	保有車輛の数	台	0					
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0					
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	吸収源確保	大学構内の街路樹、植木、その他、樹木の手入れ、整備によるCO <sub>2</sub> 回収手段の確保	2022年度～	
2				
3				
4				
5				